

長野県障がい者スポーツ推進プロジェクト (令和2年度スポーツ庁委託事業成果報告書概略資料)



パラスポーツの新しい波を起こそう！

〔ロゴに込めた願い〕

コンセプトは、「ユニバーサルデザインの一步先」

点字のPWNをモチーフにしたロゴデザインで、信州の空と木々の美しい
信州・ながのの彩りと、長野から生まれる新しい波をイメージしています。

1 地域が有する課題

障がいのある人にとって、スポーツは社会参加への第一歩であるとともに、地域における交流の機会としても重要である。しかし、本県でも他の地域と同様に、スポーツをする障がい者は減少傾向にあり、県障がい者スポーツ大会等への参加者数は10年前と比較し、約2割減少している。また、本県は県土が広く、市町村数が多いこともあり、地域によって障がい者スポーツに対する取組に温度差がある。

このような現状の中で、2028年に本県で全国障害者スポーツ大会の開催が予定されており、この大会の開催に向けた選手発掘・育成強化、指導者や障がい者スポーツを支える人材の養成を進めていく必要があるとともに、障がい者が身近な地域でスポーツに親しむ環境づくりが急務となっている。

<現状と課題>

- 潜在的な障がい者のスポーツ・文化活動のニーズに対応できていない
- スポーツに取り組みやすいきっかけづくりの不足
- 障がい者スポーツの競技用具の整備の遅れ、体育施設等の確保困難
- 障がい者スポーツを指導できる人材の不足、障がい者スポーツ指導員の活動が低調、競技スポーツの専門性が低い

2 事業の推進体制

障がい者スポーツを支援することを目的に、様々なスポーツ関係者等により構成される「長野県障がい者スポーツ推進プロジェクト実行委員会」を組織し、推進母体とした（事務局：県障がい者支援課）。

〔構成団体〕

長野県レクリエーション協会、長野県スポーツ推進委員協議会、障がい者スポーツ地域コーディネーター、長野県障がい者スポーツ協会、長野県障がい者スポーツ指導者協議会、長野県公民館運営協議会、長野県スポーツ協会、信州大学、長野大学、長野県社会福祉協議会、長野県総合型地域スポーツクラブ運営協議会、長野県障がい者福祉センター、日本財団パラリンピックサポートセンター、長野県

3 事業内容

(1) 障がい者スポーツ体験会指導者等派遣システム構築

① 各種競技の指導者養成のための体験会等の開催

〔フットベースボール体験会〕

実施日 9月13日(日)
場 所 池田町総合体育館(当初屋外グラウンドを予定していたが、雨天により変更)
参加者 25名(内訳:選手10名、指導者15名)
内 容 ルール説明、キャッチボール、ミニゲーム



〔車いすバスケットボール体験会〕

実施日 12月12日(土)
場 所 松本平広域公園体育館
参加者 22名(内訳 車いす児童3名、保護者4名、指導者等15名)
内 容 ルール説明、講師による3on3、乗車体験、ドリブル・パス・シュート体験、ミニゲーム



〔ボッチャ審判スキルアップ講習会〕

実施日 第1回 11月29日(日) 参加者46名(来場者34名、リモート12名)
第2回 2月21日(日) ※新型コロナウイルスの影響で中止
第3回 3月14日(土) ※新型コロナウイルスの影響で中止
場 所 千曲市ことぶきアリーナ 剣道場
内 容 ボッチャの概要・ルール説明、審判の役割理解と諸動作の確認、地域活動への参加・人材バンクへの登録要請・アンケートの実施



② 障がい者スポーツ指導者の活性化

本年度実施した、ボッチャ審判スキルアップ講習会(11月29日)受講者を中心に、NAGANOパラ★スポーツデーと伊那市立伊那東小学校ボッチャ体験会にボッチャ要員を派遣した。

今後、ボッチャを手始めとして、人材バンクに体験会等受講者を登録し、令和3年度から指導者等派遣を本格的に開始したい。

(2) 総合型地域スポーツクラブ等を活用した障がい者スポーツ拠点づくり

①大かえで倶楽部（北安曇郡池田町）

目的意識 これまでクラブの中で障がい者が参加できる教室を用意し
参加を呼び掛けてきたが、参加した事例がなかった

対象団体 安曇野レッズ、北アルプスの風（就労事業所）、安曇養護学校

実施内容

(1)フットベースボール体験会

12月5日（土）に、高瀬中学校校庭で実施

安曇野レッズを講師に招き、スポーツ推進員、体協野球部員、あずみの
病院作業療法士、クラブスタッフが参加

(2)レクリエーション・スポーツ教室（新型コロナウイルス感染症の影響で中止）

就労事業所、養護学校生徒を対象にリズム教室、ストレッチ体操、ポッチャ等



②総合体操クラブWing（松本市）

目的意識 「ダウン症の子どもも体操教室に参加できないか」という要望に応えるために、
当事者団体と連携し、体操教室を実施

対象団体 日本ダウン症協会長野松本支部ひまわりの会

実施内容

(1)実施日

10月17日（土）、11月7日（土）、12月5日（土）、1月30日（土）、
2月13日（土）、3月6日（土）

(2)場所

松本養護学校、入山辺公民館、松本市総合体育館、療育施設みらい

(3)実施内容

ストレッチ、手具（リボン、ボール、フープ）を使った体操、トランポ
リンを親子参加で実施



③アプリコットスポーツクラブ（千曲市）

目的意識 以前からクラブとして障がい者スポーツ導入に関心があり、
昨年度クラブ会長が障がい者スポーツ指導員の資格を取得

対象団体 いなりやま福祉会の障害サービス事業所、市社会福祉協議会

実施内容

(1)障がい者のスポーツ大会の開催

11月11日（水） 戸倉体育館

市社協と連携し、地域の障がい者を対象に、実施
ヨガ、エアロビクス、ポッチャ、スマイルボール等

(2)レクリエーション体験会

合計 9回開催（10月～12月の水曜日に定例開催）

場 所 千曲市勤労者体育館

参加者 いなりやま福祉会の障害サービス事業所

内 容 ポッチャ、風船バレー、スマイルボール、テニス等



(3) 各種パラスポーツを紹介する動画等の作成

今年度県で実施した体験会等の様子を撮影し、その映像を今後実施する体験会等で活用、各障がい者スポーツの魅了や練習方法を伝えることを目的に動画を作成。

また、長野県障がい者スポーツ協会のホームページに、各種障がい者スポーツの競技を紹介するページを制作した。

(4) 関連する取組

①みらいアスリート育成支援事業

特別支援学校卒業後の地域でのスポーツ活動の継続が課題であったことから、関連する取組として、特別支援学校での体験会等の開催及び地域のスポーツ関係者の力を借りた、知的障がい者のソフトボールチームづくりを県障がい者スポーツ協会とともに実施。



②パラスポーツを題材にした教育プログラムの作成

公益財団法人日本財団パラリンピックサポートセンターと協働で、学校の子供たち向けの意識啓発のための教育プログラムの作成に着手。

子どもたちがパラスポーツを楽しみながら真剣にプログラムに取り組むことで、共生社会創造への気づきを与えることを目的とする。

作成にあたり、協力いただいた小学校 計6校 179名

実施日	小学校名	参加学年・児童数
11/17	長野市率塩崎小学校	6年生 35名
11/20	木曽町立三岳小学校	3～5年生 8名
11/26	伊那市立伊那西小学校	全学年 53名
12/7	南箕輪村立南部小学校	3年生 23名
2/15	伊那市立手良小学校（予定）	3年生 27名
2/22	伊那市立伊那東小学校（予定）	4年生 33名

